

福祉サービス第三者評価 評価調査報告書

(保育分野)

運営主体：社会福祉法人 七葉会

ことは保育園

2019年11月22日作成

実施評価機関：

一般社団法人 日本保育者未来通信

○実施概要

事業所名： 社会福祉法人 七葉会 ことは保育園
報告作成日： 2019年11月22日 (評価に要した期間7カ月間)
評価機関： 一般社団法人 日本保育者未来通信

【評価方法】

1. 事業者自己評価 【実施期間：2019年9月2日～2019年9月20日】

・評価機関の担当者より、職員説明会にて第三者評価の主旨及び実施方法を説明。弊社作成の「職員振り返りシート」を使用し、クラス会議などを通して各クラスで記入。その後、園長、理事長を中心に職員会議にて全職員で協議し作成した。

2. 利用者家族アンケート 【実施期間：2019年7月16日～2019年7月26日】

- ・配布：全園児の保護者（92家族）に対して、園から配布。
- ・回収：保護者が評価機関所定の回収BOXに投函し回収。

3. 訪問実地調査 【実施日：2019年10月25日、2019年10月30日】

■10月25日

- ①午前：各クラスの保育観察（3歳児、4歳児、5歳児）
- ②午後：書類調査～事業者面接調査（理事長・園長）

■10月30日

- ①午前：各クラスの保育観察（0歳児、1歳児、2歳児）
- ②午後：書類調査、職員ヒアリング（0歳児1名、1歳児1名、2歳児1名、4歳児1名、5歳児1名、栄養士1名）、事業者面接調査（理事長・園長）

4. 利用者本人調査【実施日：2019年10月25日、2019年10月30日】

- ・全日、各クラスの保育観察を中心に、遊び、食事、排泄、午睡などを観察。
- ・乳児については観察調査、幼児については観察と遊びの時間の際に、会話の中で適宜聞き取り調査を実施。

○評価結果についての講評

(高く評価できる点、独自性のある点、今後期待される点、工夫改善点などについて総括)

【施設の概要】

社会福祉法人七葉会ことは保育園は、戸塚駅よりバスで10分の場所にあり、周辺は緑に囲まれ、住宅街が広がる中にあります。園は、昭和52年4月に設置許可を受け、社会福祉法人七葉会によって開設されました。運営法人は、ことは保育園を運営するほか、特別養護老人ホーム、ショートステイ、放課後等デイサービスの事業を行っています。

当園の定員は、120名(0~5歳児)、開園時間は、平日7時30分~18時45分、土曜日7時30分~15時30分です。

園の施設は、一部2階建ての鉄筋構造の園舎が園庭を囲むように設計されており、1階には2歳児室、事務室、調理室、クレパスと呼ばれる多目的スペースがあります。2階には0歳児室、1歳児室があり、3~5歳児は交流がしやすいよう部屋が並んでいます。園庭には登り棒、すべり台、砂場などの遊具のほか、梅、杏、りんごの木など実のなる樹木が植えられています。また、近隣には緑に囲まれた公園、林の中の散歩道、自家農園などがあり自然豊かで安全な環境に恵まれています。

毎月の誕生日会に加え、月に1回程度のお弁当の日があります。年間の主な行事としては、入園式【4月】3~5歳児クラスでの遠足【5月】、ミニコンサート【6月】、年長児対象のお泊り保育、じゃが芋掘り【7月】、夕涼み会【8月】、耕作【9月】、うんどう会【10月】、歩き遠足【11月】、発表会【12月】、まゆ玉作り、雑炊会【1月】、節分【2月】、ひなまつり、卒園遠足、卒園式【3月】があります。

保育理念は『こどもの「ほんとうのことば、思い」をきく(よいこだから生まれてきました。わたしはよい子です、あなたもよい子です。明るく素直に今一生懸命)』です。保育の基本方針は『自律ある自由のこどもをつくる(あかるいことばで、あかるいせかいをつくる。あかるいことばで、よいこのじぶんをひきだそう。あかるいことばで、すばらしいあなたをみいだそう。)』『健康安全を第一に考え、生命の保持と情緒の安定を図り養護と教育に偏りのない保育の実践』です。そのどちらも子ども本人を尊重したものであり、昭和52年の開園当初から園の根幹となっています。

1. 高く評価できる点

○経験豊富な職員による家庭を含めた保護者支援を実践しています

全職員のうち、保育士等としての経験年数が20年以上の職員が過半数程度を占めるとともに、当園での経験年数も10年以上の職員が、同様に過半数程度を占め、職員全体の経験年数の厚さがあります。そのため、全園児を知る職員が多いことから、一人一人の成長過程を把握した保育実践につながっていることが伺えます。

それは、保護者支援にもつながっています。勤続年数が長い職員が多いことから、卒園した兄弟関係も含

め、家庭状況を把握した個別の対応などの保護者支援を実施しています。これらの実践は、各家庭全体の支援となり、園全体の家庭的な雰囲気にもつながっています。背景として、利用者家族アンケートでも、「ベテランの先生が多いので安心してます。」などの意見が挙げられています。

○畑仕事からの食育など、日々の生活の中で幅広い食育活動が実践されています

本園では、給食・おやつの際には、保育者も子どもたちと一緒に同じテーブルを囲んで食事をしています。子どもたちと一緒に同じものを「あ〜ん」と口を開けて食べたり、「もぐもぐ」とすることで、低年齢児から食への興味がいっそう増し、さらに視線を合わせながら「美味しいね」「甘いね」「酸っぱいね」と思いの共有をすることを大切にしています。

園内や近くの山にある畑での野菜作りの取り組みは、0〜5歳の各年齢に応じ、年間を通して行っています。0、1歳児も畑の野菜を見たり、収穫時に実際に触れてみることで興味や関心を持ち、野菜を育てて食べることを身近に感じています。2歳児クラスの前には、畑とプランターがあり、種まきや水やり、収穫を楽しんでいます。4歳児になると図鑑を見ながら、どんな野菜を育てるか、子どもたちが話し合っています。5歳児は、うね作りや間引き、草とりも担当しています。また、4、5歳児がペットボトルに水を入れて運び、山の畑の水やりを行っています。

10月には、全園児が園庭に集まって調理をするなど、みんなで楽しく芋汁を食べるという収穫祭があります。1歳児以上が芋掘りをしたさつまいもを使って、芋汁（豚汁）を作りました。3〜5歳児は、エプロン・三角巾をつけ、材料の大根、にんじんなどを包丁を使って切る活動もしました。

収穫祭以外でも、育てた野菜を楽しみながら食べています。1歳児では、収穫したきゅうりを、包丁で切るのを間近に見て、クラスみんなで食べたり、4歳児では、園長先生が子どもたちの目の前で「とれたてなすとピーマン炒め」を調理し、食べたりしています。苦手なピーマンを「こんなうまいの初めて食べた！」と言って、美味しそうに食べた子どももいるなど、野菜作りからかかわることで、「食」への興味や関心、感謝の気持ちも育まれています。

また、園庭には梅、杏、りんごの木があり、実がなると触ったり、においをかいだりして、自然の豊かさを感じています。梅がたくさんとれた時には、梅ジュースを作り、みんなで飲んでみました。一年を通して行われる食育の活動は、野菜を作って食べるだけでなく、子どもたちの興味や関心、いろいろな経験が詰まった日々の積み重ねであり、大きな成長の一端になっています。

2. 独自に取り組んでいる点

○外部講師を招いての研修など園内研修の充実が図られています

園では、全職員を対象に2ヶ月に1回、外部の講師を招き、「傾聴」や「配慮する子どもへの対応」などの園内研修を実施し、全職員での共通理解や、保育士としてのさらなる研鑽に励んでいます。また、全職員が受ける園内研修の他に、非常勤職員だけを対象とした園内研修もしています。

外部研修としては、経験年数から求められるスキルや個々の意欲に応じて、適宜研修を受けています。研修内容については、研修ノートに関連資料とともにまとめられ、月1回の職員会議などで全職員で共有しています。これらの研修内容は、ファイルに綴じられ、事務所で保管し、いつでも閲覧できるようにしています。

○音楽専門の講師による音楽指導の時間とミニコンサートを実施しています

3, 4, 5歳の幼児クラスには、クラスごとに月に3回の音楽指導の時間があります。音楽専門の講師が来園し、3歳児は歌やリトミック、4歳児は鉄琴や小太鼓、5歳児はピアノなど、各年齢に応じて、歌を歌ったり、楽器に触れたりしながら、音楽を楽しんでいます。4月から少しずつ経験を積み重ね、12月の発表会では、日頃の成果を発表しています。5歳児は、ピアノ以外にも、タンバリンや太鼓などいろいろな楽器で合奏に取り組み、発表会に向けてクラスみんなで協力して行っています。

また、「本物の音楽を聴かせたい」という思いから、年に2回、全園児向けにミニコンサートを開催しています。音楽指導の講師の協力も得て、バイオリン、フルート、クラリネット、ピアノなど、毎回いろいろな楽器の音色や音楽を楽しんでいます。生の楽器の演奏に合わせて子どもたちも一緒に歌ったり、その後楽器を触らせてもらう機会を作ったりなど、音楽を身近に感じ、興味や関心がさらに高まるようにしています。

3. 工夫・改善が望まれる点

○急速な社会情勢の変化に伴う、さらなる防犯対策が望まれます

園は昭和52年の開園以来、畑活動やまゆ玉作りなど、伝統的な保育実践を大切にしつつも、時代の変化に合わせて安心、安全な保育実践に努めています。

昨今の急速な社会情勢の変化に伴い、防犯に関しての重要性や、防犯対策への重要度が高まっています。当園では、これらの情勢や利用者の声を受け、昨年度、防犯カメラの設置をするなど対策を講じました。

今後は利用者家族アンケートで挙げられている、「園の外部からのさらなるセキュリティーの強化」という意見をふまえ、現時点で講じている対策に加え、園としての、さらなる防犯に対する工夫や検討が望まれます。

評価領域 I 子ども本人の尊重

評価分類・評価項目	自己 評価	評価 結果	評価の理由（コメント）・評価根拠
<p>評価分類 I - 1 保育方針の共通理解と全体的な計画などの作成</p> <p>(1) 保育の理念や基本方針が子ども本人を尊重したものになっており、全職員が理解し、実践しているか。</p> <p>(2) 全体的な計画は、保育の基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一義にして作成されているか。</p> <p>(3) 日常の保育を通して子どもの意見や意思を汲み取る努力をし、指導計画に反映させているか。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保育理念は『こどもの「ほんとうのことば、思い」をきく（よいこだから生まれてきました。わたしはよい子です、あなたもよい子です。明るく素直に今一生懸命）』です。保育の基本方針は『自律ある自由のこどもをつくる（あかるいことばで、あかるいせかいをつくる。あかるいことばで、よいこのじぶんをひきだそう。あかるいことばで、すばらしいあなたをみいだそう。）』『健康安全を第一に考え、生命の保持と情緒の安定を図り養護と教育に偏りのない保育の実践』です。そのどちらも子ども本人を尊重したものであり、昭和52年の開園当初から園の根幹となっています。 ・基本方針は「全体的計画」に掲げられ、それをもとに「年間指導計画」「月案」「週案」が作成されます。また、職員会議などでも常に取り上げられ、全職員が理解したうえで日々の保育が行われています。 ・全体的計画は、保育所保育指針をもとに、子どもの最善の利益を第一義にして作成しています。子どもの思い、保護者、保育者の思いにも考慮し、また、自然豊かで安全な環境に恵まれている園の特色を生かして畑活動を園全体の取り組みとしています。 ・毎日の保育の中で、子どもたちの思いを尊重することを、大切に考えており、『こどもの「ほんとうのことば、思い」をきき（保育理念）、理解できる保育者や保護者であること』を、「案内」でも明文化しています。 ・指導計画については、日々の子どもの様子を観察しながら、活動の進め方や内容を変更するなど臨機応変に柔軟性を持って進めています。 	
<p>評価分類 I - 2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> <p>(1) 入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか。</p> <p>(2) 新入園児の受け入れ時の配慮を十分しているか。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・入園前には、保護者との面接を行い、家庭状況、健康面、食物アレルギー、配慮点などについて話し合いをしています。面接記録は、クラス担任などに引き継がれ、共通認識を持って、個別の指導計画や日々の保育に生かされています。 ・入園時には、「児童票」を提出していただき、生育歴や家庭での状況を把握しています。 	

<p>(3) 子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか。</p> <p>(4) 乳児保育（0歳児）において、適切な環境を整備し、生活や遊びが充実するよう配慮しているか。</p> <p>(5) 1歳以上3歳未満児の保育において、適切な環境を整備し、生活や遊びが充実するよう配慮しているか。</p> <p>(6) 3歳以上児の保育において、適切な環境を整備し、生活や遊びが充実するよう配慮しているか。</p>	<p style="text-align: center;">A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新入園児の子どもたちが無理なくできるだけスムーズに園生活に馴染めるよう、ならし保育についての説明をし、保護者の理解が得られるようにしています。 ・ならし保育については、子どもの様子や保護者の就労状況など、各家庭に応じて柔軟に対応しています。 ・新入園時が多数入園した乳児クラスにおいては、前年度の担任が持ち上がって在園児の担当となり、環境が変化しても安定して過ごせるようにするなど、在園児への配慮もなされています。 ・指導計画は、子どもの発達や状況に応じて、各クラスの複数の担任が話し合い、作成、評価、見直しを行っています。0、1、2歳児は、個別の指導計画を作成しています。 ・乳児保育（0歳児）においては、家庭的な雰囲気大切にしながら、保育者との愛着関係が構築できるようにしています。丁寧で穏やかに語りかけながら世話をしており、安全や清潔が確保された環境の中で、子どもたちは安心して過ごしています。 ・1歳以上3歳未満児の保育において、自分でしようとする気持ちを大切に、見守ったり、受け止めたり、応答的な対応をしています。今年度2歳児は、月齢が高めのクラス構成のため、特に子どもの意欲を尊重しながら、自分の意思で行動できるようにしています。 ・一人一人の発育に応じて、全身を使う遊びが楽しめるようにしています。ホールでは乗り物の遊具やマットを使って、体を動かし好きな遊びを楽しんでいます。また、園庭の大きな段差では、保育者に見守られながら全身を使ってよじ登ることが、子どもたちの遊びのひとつになっています。近隣の森や公園、陸橋、川沿いの側道など園外保育にも週に3日くらい出かけてさまざまな遊びを楽しんでいます。 ・自分の思いをうまく表現できない年齢ですが、すぐに保育者が手助けするのではなく、子どもたちの思いやかかわりをよく観察しながら、代弁したり仲立ちをしたりするようにしています。 ・3歳以上児の保育において、生活面では、グループでの当番活動などを取り入れ、給食の配膳や、帰りの
---	--

		<p>会での手紙の配布、おやつ後に床をきれいにするための雑巾がけなどを行っています。また、2歳児の着脱の援助なども行い、これらのかかわりから生活がより充実するよう配慮しています。遊び面では、室内活動では跳び箱やマット、トランポリンや巧技台などを使って、全身運動ができる環境を整えています。また、園庭には、ボール、缶ぽっくり、シャベルやバケツなどの多様な砂場道具、また遊具として登り棒、丸太橋、すべり台、砂場があり子どもたちが自由に選択できる環境を用意し、十分に遊び込める時間を確保しています。さらに、氷鬼や長縄、ドッジボールなどルールのある遊びも取り入れています。</p>
<p>評価分類 I - 3 快適な施設環境の確保</p> <p>(1) 子どもが快適に過ごせるような環境（清潔さ、採光、換気、照明など）への配慮がなされているか。</p> <p>(2) 沐浴設備、温水シャワーなど体を清潔にできる設備があるか。</p> <p>(3) 子どもの発達に応じた環境が確保されているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者が協力し合いながら、毎日の清掃にあたり、常に整理整頓され清潔に保たれています。 ・適宜窓を開けて通風・換気をすることが可能です。各保育室には温・湿度計を設置してあり、数値の確認のほか、子どもたちの様子や体感に合わせて、室温を調整しています。 ・0, 1歳児共有のトイレ、水場のスペースに、沐浴設備・温水シャワーがあります。また別に、幼児クラスが使用できる温水シャワーがあります。 ・0, 1歳児の排便の際には、温水シャワーでお尻を洗って清潔にしています。 ・0, 1歳児クラスでは、低い玩具棚やロッカーなどで仕切りをして、遊ぶスペースや、支度をするスペースに分けるなど、工夫した使い方をしています。 ・食べる、寝るなどの空間については、構造上同室ですが、低年齢児クラスでは活動ごとにスペースを区切りながら使用するなど、食事と午睡の場を分けています。 ・異年齢児が交流する活動ができる場所として、2階のホール、1階のクレパスと呼ばれる多目的スペースまた、園庭などの環境が確保されています。
<p>評価分類 I - 4 一人一人の子どもに個別に対応する努力</p> <p>(1) 子ども一人一人の状況に応じて保育目標を設定し、それに応じた個別指導計画を作成しているか。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・0~2歳児は、各年齢の月別指導計画において、個別の指導計画を作成しています。 ・幼児についても、発達上の課題が見られたり、特別な配慮が必要であったりする場合には、個別指導計画を作成しています。

<p>(2) 子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の目標・計画は、一人一人の発達状況に合わせて、柔軟に変更や見直しをしています。特に低年齢児は、同じ月齢でも個人差がとても大きいため、話し合いながら一人一人に合わせて作成、見直し、変更を行っています。 ・子どもの家庭の個別の状況・要望については、入園時に「児童票」を提出してもらっています。また、入園後も予防接種の状況などを追加記録し、随時更新しています。 ・入園後の子どもの成長発達記録として「児童健康台帳」があります。身体測定の結果は、その都度、保護者へ連絡ノートを通してお知らせしています。各家庭は、年に一度、身長・体重の記録をグラフ化した記載がある「児童健康台帳」を持ち帰ります。 ・子どもの記録内容は、整理してファイリングされており、全職員が共有できるしくみになっています。 ・保育所児童保育要録を進級先の小学校に送付しています。
<p>評価分類Ⅰ－５ 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p> <p>(1) 特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育する上で必要な情報が職員間で共有化されているか。</p> <p>(2) 障害児保育のための環境整備、保育内容の配慮を行っているか。</p> <p>(3) 虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。</p> <p>(4) アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができているか。</p> <p>(5) 外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対して適切な配慮がされているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮を必要とする子どもの個別ケースについては、職員会議で報告や話し合いが行われ、内容が記録されています。 ・最新の情報を職員間で学習し、保育に生かすために、2ヶ月に1回、専門講師を招いて園内研修を行っています。また、戸塚、西部、療育センターの巡回が1年に2～3回あり、その都度、具体的なアドバイスを受けています。 ・バリアフリーについては、室内スペースの確保や園の立地が土地の高低差を利用した作りになっていることなどの事情もあり、現在は整備まで至っていません。 ・保護者の同意を得て、医療機関や児童相談所、療育センターなど専門機関からの助言や情報が得られる体制があります。 ・虐待が明白になった場合や、疑わしい場合、見守りが必要な場合は、迅速に関係機関との連携をとる体制があります。 ・園長や保育者は、家庭支援の必要な保護者には、特に日頃からコミュニケーションを心がけ、信頼関係の

		<p>構築に努めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どものかかりつけ医の診断、指示を受け、アレルギー対応食などの適切な対応を行っています。 ・全職員に、アレルギー疾患についての必要な知識や情報が周知されています。 ・アレルギー対応に考慮し、約3年前より、小麦を完全除去した食事、おやつを全園児に提供しています。 ・食物アレルギー児の献立については、毎月栄養士と担任が細かくチェックし、その後保護者にも確認をしてもらっています。 ・除去食を提供する際には、誤食事故を防止するため、色分けした専用食器、専用トレイを使用し、名前シールを貼っています。給食室内での栄養士による確認、保育室での担任による確認を行い、誤食事故への細心の注意をはらっています。また、除去食の盛り付けは、いちばん最初に行う手順となっています。 ・中国、ベトナム、イギリス、ドイツの家庭の子どもが在籍しています。それぞれの家庭の状況などを理解するように努め、文化や生活習慣、考え方の違いを認め尊重して保育を行っています。
<p>評価分類 I - 6 苦情解決体制</p> <p>(1) 保護者が保育についての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか。</p> <p>(2) 要望や苦情などを受けて、迅速に対応できる仕組みになっているか。</p>	<p style="text-align: center;">B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回の個人面談及び年3回のクラス別懇談会があり、日頃の保育や子どもの様子などを保護者と共有する機会があります。 ・玄関に設置された意見箱、年1回の園独自の保護者アンケートなどにおいても、保護者の意見や要望を聞いています。 ・第三者委員に、直接苦情を申し立てることができます。「ことは保育園運営規定」において、第三者委員について明文化されており、玄関前に苦情受付や第三者委員の紹介などが具体的に掲示されています。今後は第三者委員の他にも、外部の権利擁護機関など他機関の苦情解決窓口との連携体制が整備されることが望まれます。 ・要望や苦情の受け付けは、各保育士が担当し、園長が責任者となっていますが、事前の保護者への説明は現在されていないため、説明方法などを検討し対応されることが望まれます。 ・昨年度の保護者アンケートの結果を踏まえ、防犯カ

		<p>メラが設置されました。</p> <p>・年1回実施される園独自のアンケートの実施により保護者の要望を把握し、第三者委員を含めた苦情解決体制があります。しかし、現在はマニュアルなど文書化してまとめられたものはないため、今後は要望に関しても、データとして蓄積・整理し、今後の対応や解決に生かしていくことが期待されます。</p>
--	--	--

評価領域Ⅱ 保育の実施内容

評価分類・評価項目	自己評価	評価結果	評価の理由（コメント）・評価根拠
<p>評価分類Ⅱ－1 保育内容</p> <p>〔遊び〕</p> <p>(1) 子どもが主体的に活動できる環境構成（おもちゃ・絵本、教材、落ち着いて遊べるスペースなど）ができているか。</p> <p>(2) 遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか。</p> <p>(3) 動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会にかかわる体験が取り入れられているか。</p> <p>(4) 子どもが歌やリズム、絵や文字、体を動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか。</p> <p>(5) 遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか。</p> <p>(6) 積極的な健康増進の工夫が遊びの中になされているか。</p>		A	<p>・各クラスに年齢に合ったおもちゃ（ブロック、おもまごと用のおもちゃなど）があり、子どもたち自身で取り出せるよう工夫しています。また、3歳以上の子どもは、自由画帳、粘土、糊などの教材を個別のロッカーにそれぞれ保管し、自由遊びなどの際に、自由に取り出して制作活動などを楽しんでいます。さらに、じゅうたんや敷物を敷き、ゆったりと落ち着いて遊べる環境も確保しています。</p> <p>・園庭には、ボール、缶ぽっくり、シャベルやバケツなどの多様な砂場道具、また遊具として登り棒、丸太橋、すべり台、砂場があり子どもたちが自由に選択できる環境を用意し、十分に遊び込める時間を確保しています。</p> <p>・ごっこ遊びではお店屋さんごっこなどを楽しんでいます。子どもたちはバックやお金、財布、カードなどを作り、それをごっこ遊びの中で使いながら自由に遊びを楽しんでいます。時には、お店屋さんごっこが発展し、ポップコーンやおせんべいなどを売り、実際にお店屋さんごっこで買ったポップコーンなどを食べる時もあります。</p> <p>・3歳児以上で月に3回行われる、音楽活動では3歳児は歌やリトミック、4歳児は鉄琴や小太鼓、5歳児はピアノなど年齢に応じてルールを守りながら音楽活動も楽しんでいます。</p> <p>・お弁当の日は季節を感じられるよう、戸外でお弁</p>

		<p>当を食べます。また年に1回、3歳児以上の3クラス合同で、バスを貸し切り保護者と一緒に遠方の公園などに出かけるなど自然に触れたり、地域や社会にかかわる体験が取り入れられています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日ごろから1歳児クラスと3歳児クラスで散歩に行くなど、異年齢での交流を行っています。また、異年齢で一緒におやつを食べる機会もあります。さらに5歳児クラスの子どもたちが2歳児クラスの着脱の場面など、生活面でのお手伝いをするなどの機会も設けています。
<p>評価分類Ⅱ－1 保育内容</p> <p>【生活】</p> <p>(7) 食事を豊かに楽しむ工夫をしているか。</p> <p>(8) 食事の場、食材、食器などに配慮しているか。</p> <p>(9) 子どもの喫食状況を把握して、献立の作成・調理の工夫に生かしているか。</p> <p>(10) 子どもの食生活について、家庭と連携しているか。</p> <p>(11) 午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。</p> <p>(12) 排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。</p> <p>(13) 長時間にわたる保育のための環境を整え、配慮した保育が行われているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で食べられる量を考え、盛り付けるなど子どもたちが自分から食べようとする意欲や行動を大切にしています。 ・季節に応じた食事として栗ご飯を用意したり、七夕やクリスマスなどの行事に合わせて、行事食を用意したり、季節感がある献立や食欲がわくような盛りつけなどの食事作りに配慮しています。 ・食器は陶器を使用し、割れること、割れたら危険なことなどを理解しながら、物の扱い方や物を大切にすることを育めるようにしています。 ・保育参加はいつでも自由にでき、参加した際に、保護者が子どもたちと食事を一緒に取る機会を設けています。さらに、懇談会などで離乳食を食べる機会なども設けています。 ・乳児クラスでは、月齢差や個人差に合わせ、状況に応じてホールで少し過ごしてから眠りにつくなど、午睡・休息の場を工夫しています。 ・トイレトレーニングは、保護者との連絡ノートや送迎の際の口頭での情報共有を通して、一人一人の状況を確認し、個人差を尊重しながら進めています。 ・毎日、夕方の時間に引き継ぎの時間が設けられています。その際に、子どもたちの様子を口頭で共有するとともに、引き継ぎノートも使用し共有しています。
<p>評価分類Ⅱ－2 健康管理・衛生管理・安全管理</p> <p>【健康管理】</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・既往歴などについては、児童票を基に全職員が把握しています。児童票は年に一度、保護者に返却し、変更や追加事項を記入してもらうことで保護者か

<p>(1) 子どもの健康管理は、適切に実施されているか。</p> <p>(2) 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映させているか。</p> <p>(3) 感染症などへの対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。</p>	A	<p>らの情報を得ています。また、日ごろの口頭でのやり取りや連絡ノートなどを通して情報を得ています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嘱託医をかかりつけ医にしている家庭が多く、子どもの健康面について、園と家庭、そして嘱託医やかかりつけ医との連携が自然と図られています。 ・「おむつ替え手順書」や「保育園における消毒の適用例」さらに「下痢便、吐物の処理」についての手順などを通して、保育中に感染症などの疑いが生じた場合の対応がなされています。
<p>評価分類Ⅱ－2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]</p> <p>(4) 衛生管理が適切に行われているか。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・月に1回行われる職員会議などを通して、衛生管理に関するマニュアル内容を共有するとともに、必要に応じて見直しを行っています。
<p>評価分類Ⅱ－2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]</p> <p>(5) 安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。</p> <p>(6) 事故や怪我の発生時及び事後の対応体制が確立しているか。</p> <p>(7) 外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地震などを想定し、窓ガラスが飛び散らないよう対策をしているとともに、各クラスのロッカーや靴箱などを固定し、備品の転倒防止など安全対策を講じています。 ・緊急連絡体制については、警告宣言時の流れとしてフローチャートにまとめられています。また、月に1回必ず避難訓練を実施しています。 ・事故の記録は、「怪我報告書」に記録され、発生状況（見取り図の記入）、子どもと保育者の位置など詳細に記入できる書式を使用しています。これらの記録は、毎朝行われる朝会ミーティングや月1回の職員会議にて共有及び検討が行われ改善策が実行されています。 ・保護者からの意見を取り入れ防犯カメラを設置しました。今後、さらなる不審者などの侵入防止策を検討しています。
<p>評価分類Ⅱ－3 人権の尊重</p> <p>(1) 保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。</p> <p>(2) 必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。</p> <p>(3) 個人情報の取り扱いや守秘義務について</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・週に1回行われるクラス会議などを通して、具体的なエピソードを挙げ、子どもに対して威圧的な言葉遣いなどが行われないよう、職員間で相互に確認しています。これらの内容は、非常勤職員とも共有しています。 ・友だちや保育者の視線を意識せず過ごせる場所、

<p>て、職員などに周知しているか。</p> <p>(4) 性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。</p>		<p>また必要に応じて、子どもに威圧感を与えず一対一で話し合える場所として、事務所を使用しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人名が記載されている資料の持ち出しはしてはいけないことなど、守秘義務の意義や目的を全職員（ボランティア・実習生含む）に周知しています。 ・名簿はあいうえお順で表記しています。またグループ分けもくじ引きなどで行うなど、順番、グループ分け、整列など性別による区別はしていません。
<p>評価分類Ⅱ－４ 保護者との交流・連携</p> <p>(1) 保護者が保育の基本方針を理解できるよう努力しているか。</p> <p>(2) 個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っているか。</p> <p>(3) 保護者の相談に応じているか。</p> <p>(4) 保育内容（行事を含む）など子どもの園生活に関する情報を提供しているか。</p> <p>(5) 保護者の保育参加を進めるための工夫をしているか。</p> <p>(6) 保護者の自主的な活動への援助や意見交換を行っているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者説明会や、年3回のクラス別懇談会などを通して、保護者が保育の基本方針を理解できるように努めています。 ・クラス全体の様子を伝える保護者懇談会を、各クラス、年3回実施しています。その際に日頃の園の様子を撮影したビデオ上映をしています。 ・相談の際は、事務所を使用するなど相談内容などを人に聞かれないで相談できるよう、配慮しています。 ・年3回行われる、クラスごとの保護者懇談会などで、保育内容・目的を分かりやすく説明し情報提供を図っています。また、懇談会の前に保護者の方にアンケートを配布し、懇談会で聞きたいことや議題に挙げてほしいことなどを事前に把握するようにしています。

評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類・評価項目	自己評価	評価結果	評価の理由（コメント）・評価根拠
<p>評価項目Ⅲ－１</p> <p>地域の子育て支援ニーズを把握するための取り組みを行っているか。</p> <p>(1) 地域の子育て支援ニーズを把握するための取り組みを行っているか。</p> <p>(2) 地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を生かしたサービスを提供しているか。</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・戸塚、西部療育センター、児童相談所、近隣の保育園、幼稚園、小学校、中学校との連携体制があり、定期的に検討会・研究会・ケース会議が行われています。 ・日頃の保育時間の中で、近隣の子どもと保護者が園庭に来園し、園児との交流も持ちながら自由に過ごす機会がみられます。 ・夕涼み会や運動会の行事の際には、地域に対し

	B	<p>ポスターや手紙などで案内をすることで、地域の方々や、子どもと保護者を招待し、交流の場を作っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園の見学希望の方には、その都度日程の調整をするなど個別に対応をしており、園長が保護者と直接コミュニケーションを取りながら案内をすることで、ニーズや要望を汲み取っています。 ・創立から42年が経ち、これまで長く地域に根ざした保育園として運営されてきました。相談事業、交流保育、園庭開放など、今後はさらに現状で行える子育て支援を工夫し、園の専門性を地域に還元することが期待されます。
<p>評価分類Ⅲ－2 保育所の専門性を生かした相談機能</p> <p>(1) 地域の保護者や子どもなどへの情報提供や育児相談に応じているか。</p> <p>(2) 相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができる体制になっているか。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・行事において普段とは違う賑やかな声や音、かまどや花火の煙が出ることを、事前に近隣の地域に手紙を配布することでお知らせし、地域に理解いただけるよう努めています。 ・夕涼み会や運動会の行事については、近隣の子どもたちにもポスターや手紙で案内しており、参加することができます。 ・見学希望の方には、随時個別に話を聞きながら相談を受けています。現在、定期的な育児相談日は設けていません。 ・地域の医療機関や、児童相談所、療育センターなど、必要な関係機関はリスト化することで、職員間で情報を共有しています。連携の窓口は、主に園長が担当しています。 ・年2～3回の療育センターの巡回、2ヶ月に一度の専門講師による園内研修など、日常的に相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができる体制になっています。

評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類・評価項目	自己評価	評価結果	評価の理由（コメント）・評価根拠
<p>評価分類Ⅳ－1 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p>			<p>・夕涼み会や運動会には、地域の方々や子どもと保護者にも参加してもらえるよう、ポスターや手</p>

<p>(1) 保育所に対する理解促進のための取り組みを行っているか。</p> <p>(2) 子どもと地域との交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。</p>	<p>A</p>	<p>紙などで案内をしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年1～2回、町内会との打ち合わせに参加し、地域の防犯や、園に隣接する市民の森の整備などについて話し合い、共有しています。 ・市民の森には、子どもたちの遊び場や畑があり、年に一度、町内会の方に、草刈りなどの森の整備に協力をいただいています。 ・防災の面でも相互協力体制があり、近年園内に放水ホースを設置しました。また、災害時には、園は一時的避難所として利用されます。 ・5歳児が、秋と冬に2回程度、小学校を訪問し交流する機会があります。校内を案内してもらうなど、就学に向けての準備の一環となっています。 ・7校の中学校から職場体験活動を受け入れています。毎回10名程度の学生が、1～5歳児クラスで保育士体験をしています。 ・夏休み時期には、高校生のインターンシップを受け入れています。 ・地域や学校に、太鼓、臼、杵などの貸し出しを行っています。 ・開園40周年記念祝いの際には、地域の方々を招待し、一緒に食事をしました。これらの取組は保育所に対する理解促進のための一環となりました。 ・隣接する市民の森は、遊び場や畑として活用しています。スポーツセンターにて、複数の園が集まって遊ぶイベントを、戸塚区が主催し、イベントに参加することを通して、子どもの生活の充実と地域の理解を深めることにつなげています。 ・各年齢ともに日常的に公園などの園外保育に出かけており、保育者や子どもたちは、積極的に地域の方々に挨拶をしています。引率の際には、交通安全に特に留意し、細心の注意を払っています。
<p>評価分類Ⅳ－2 保育所における福祉サービスに関する情報提供</p> <p>(1) 将来の利用者が関心のある事項についてわかりやすく情報を提供しているか。</p> <p>(2) 利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市ホームページに、保育方針を含め基本情報を掲載しています。情報サイト「ワムネット（独立行政法人福祉医療機構）」にも、財務諸表などの情報を掲載しています。 ・電話での利用希望者の問い合わせが多く、その際、随時見学ができることを案内しています。

	B	<ul style="list-style-type: none"> ・見学については、希望者の都合に合わせて、主に園長が対応しています。 ・見学は、個別（複数組の場合もあり）に案内するため、見学者の質問など、よく話を聞きながら丁寧に説明をすることができます。 ・問い合わせや見学者に対しては、これまで個別に丁寧に対応してきた実績がありますが、パンフレットなどの説明文書や、独自のホームページ、外部の情報提供媒体の利用など、さらに幅広くわかりやすい情報提供についての検討が望まれます。
<p>評価分類Ⅳ－3 ボランティア・実習の受け入れ</p> <p>(1) ボランティアの受け入れや育成を積極的に行っているか。</p> <p>(2) 実習生の受け入れを適切に行っているか。</p>	C	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの希望があれば、受け入れる体制がありますが、現在のところ希望がなく実績はありません。 ・受け入れの担当者は主に園長となりますが、現在、受け入れのためのマニュアルなどの整備までには至っていません。 ・実習生の受け入れは園長が担当しています。 ・実習生は、担当保育者と、毎日振り返りの時間をもち効果的な実習が行われるようにしています。 ・実習最終日には、かかわった保育者全員が集まり、振り返り、話し合いをする場を設けています。 ・実習担当クラスについては、実習生の希望を優先して担当クラスを決めています。また、園の方針や基本情報が記載された「案内」を配布し、個人情報の取り扱いの注意など、説明をしていますが、現在マニュアルの整備までには至っていません。 ・今後は、実習生の受け入れにあたり、さらにスムーズな説明、準備、実施が行われ、有効な学びの機会になるようマニュアルなどの整備を行うことが望まれます。

評価領域Ⅴ 人材育成・援助技術の向上

評価分類・評価項目	自己評価	評価結果	評価の理由（コメント）・評価根拠
<p>評価分類Ⅴ－1 職員の人材育成</p> <p>(1) 保育所の理念や方針に適合した人材を育</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・個々の職員の資質向上に向けた目標を毎年定め、年に1回の園長との面談の際、自己評価の書面を

<p>成するための取り組みを行っているか。</p> <p>(2) 職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか</p> <p>(3) 非常勤職員などにも日常の指導を行っているか</p>	A	<p>通して、達成度の評価が行われています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2カ月に1回、園に講師を招き、「傾聴」や「配慮する子どもへの対応」などの研修を受講し理解を深めています。研修は非常勤職員も受講しています。 ・各クラス、各時間帯に必ず正職員を配置し、非常勤職員の方が業務内容などについて確認できるような組み合わせに配慮しています。
<p>評価分類V-2 職員の技術の向上</p> <p>(1) 職員のスキルの段階にあわせて計画的に技術の向上に取り組んでいるか。</p> <p>(2) 保育士などが保育や業務の計画及び記録を通してみずからの実践を振り返り、改善に努める仕組みがあるか。</p> <p>(3) 保育士などの自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価を行っているか。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・日ごろの職員の振り返りは、月案などを通して行われています。保育所の自己評価については、自己点検票など用いて振り返る仕組みを持っています。 ・年に1回行われる、園長との面談の際、事前に自己評価の書面を通して、自己の実践を一人一人が振り返り、園長と共に改善やその後の計画作成に反映させています。 ・保育所としての自己評価は、自己点検票などを用い、保育所の理念や保育の方針、全体的な計画に沿って行われています。
<p>評価分類V-3 職員のモチベーションの維持</p> <p>(1) 総合的な人事管理が行われているか。</p> <p>(2) 本人の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めているか。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・経験年数に応じて求められる業務内容が書面にて明示されています。さらに、園長による年1回の各職員との面談で使用される、自己評価の書面を通して、職務に関する成果や貢献度などを評価する仕組みとしています。さらに、職員の意向・意見も面談などを通して把握し、各職員に対する改善策を検討・実施しています。 ・経験年数に応じて求められる業務内容が書面にて明示されています。 ・日々の保育に関しては責任者が曜日ごとに明確に書面にて定められ、現場の職員に可能な限り権限を委譲し、責任を明確化しています。また、月ごとのリーダーも書面にて定められ、その月の行事などに関する権限に関して、責任を明確にしています。

評価領域VI 経営管理

評価分類・評価項目	自己 評価	評価 結果	評価の理由（コメント）・評価根拠
<p>評価分類VI-1 経営における社会的責任</p> <p>(1) 保育所として守るべき、法・規範・倫理などを周知し実行しているか。</p> <p>(2) 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われているか。</p> <p>(3) 保育の質を維持しつつゴミ減量化・リサイクル・省エネルギーの促進、緑化の推進など環境に配慮しているか。</p>		B	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所として守るべき、法・規範・倫理などが、「就業規則」内に明文化され、職員に周知されています。 ・経営、運営状況などは、情報サイト「ワムネット（独立行政法人福祉医療機構）」に公開されています。 ・他の保育施設などでの不適切な事案や、ニュース報道などについては、その都度、日々の朝会ミーティングなどで取り上げ、情報の共有や職員への啓発を行っています。 ・事務、経理、取引などについては、会計士の指導や指摘事項にもとづき公正かつ、適正に取り組んでいます。 ・園内でのゴミ分別、減量化の実施に努めています。 ・ペットボトル、空き箱、空き容器などの廃材を子どもたちの制作活動や遊びに利用し、保育に活かしています。 ・節電対策の実施として、窓を開けて換気をすることやエアコンの適切な温度管理を心がけています。使用しないスペースの電灯はこまめに消すなど省エネルギーに努めています。 ・暑さ対策として、緑のカーテン（ゴーヤ棚）を実施しています。
<p>評価分類VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割など</p> <p>(1) 保育所の理念や基本方針などについて職員に周知されているか。</p> <p>(2) 重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者などから情報・意見を集めたり説明しているか。</p> <p>(3) 主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしているか。</p>		A	<ul style="list-style-type: none"> ・園長は、職員会議の場や、年に1度行う職員面談などを通して、各職員に対し理念や方針の意識づけや、理解の確認をしています。また、保育指導計画やその振り返りの書類を確認することで、日常の保育の姿勢からも、各職員の理解の確認をしています。 ・保護者などからの情報や意見を集めたり説明したりする場として、年3回のクラス懇談会や、年1回以上の個人面談、また年1回の保護者会総会や、月1回の保護者役員会などがあります。

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 広く保護者の声を聴くために、意見箱を設置するとともに、年度末に全家庭に対して日頃の保育について保護者の意向や理解を確認するアンケートを実施しています。 ・ 栄養士と保育士がチームになり、園全体の食育活動に取り組んでいます。野菜作りや子どもの調理参加、収穫祭などの食育関連行事について、協力して進めています。 ・ 保育経験年数が高い保育士が多く、お互いに助言をし、協力体制をとることが出来ています。 ・ 各クラスリーダーは、個々の職員の業務状況などを把握し、週1回のクラス会議で全体との共有をはかりながら、職員が精神的・肉体的に良好に仕事に取り組めるよう配慮しています。
<p>評価分類VI-3 効率的な運営</p> <p>(1) 外部環境の変化などに対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っているか。</p> <p>(2) 保育所運営に関して、中長期的な計画や目標を策定しているか。</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 横浜市などからの情報や、園長会議の報告などは、職員会議で取り上げて、全職員で共有、分析を行っています。重要な情報については、職員で議論をし、改善課題として設定し、取り組んでいます。 ・ 運営面での重要な改善課題は、職員に周知し、保育所全体で取り組んでいます。 ・ 中長期計画の一環として、修繕費用の積み立てを行い、昨年度は屋根の修繕、今年度は外壁の修繕を行いました。 ・ 給与の見直しを行い、段階的な引き上げを行うなど、職員が働きやすい環境を整えるための取組を行っています。 ・ 次代の保育所運営に関し、会計士の意見も取り入れ、新たな仕組みを常に検討しています。今後はより明文化された、中長期・単年度の具体的な計画策定が望まれます。

○利用者家族アンケートの分析

【実施概要】

■実施期間：2019年7月16日～2019年7月26日

■実施方法：

- ・配布：全園児の保護者（92家族）に対して、園から配布。
- ・回収：保護者が評価機関所定の回収BOXに投函し回収。

■回収率：

- ・配布：92家族、回収：40件、回収率 43.4%

【結果の特徴】

●問1「園の保育目標や保育方針」について、「よく知っている」「まあ知っている」を合わせ、82.5%でした。また、そのうちの77.5%が「賛同できる」「まあ賛同できる」とし、「あまり賛同できない」「賛同できない」は0%でした。

●問2「入園する時の状況について」の6項目のうち、「満足」「どちらかといえば満足」の合計の割合が最も高かったのは、“保育園での1日の過ごし方についての説明”で、90.0%となっています。なお、“見学の受け入れについて”では、「その他」の回答が15.0%となっています。その理由として、「見学に行っていません」「行っていない」などのコメントが挙げられます。

●問3「保育や行事の年間計画について」の2項目では、「満足」「どちらかといえば満足」の合計の割合は“年間の保育や行事についての説明”で、92.5%、“年間の保育や行事に保護者の要望が活かされているかについて”で、77.5%となっています。一方で、“年間の保育や行事に保護者の要望が活かされているかについて”で、「どちらかといえば不満」「不満」の合計の割合が、7.5%でした。その理由として、「保護者の要望がどのような内容なのかがわからない」「今年初めてなので不明」などのコメントが挙げられます。

●問4「日常の保育内容について」の「遊びについて」の6項目のうち、「満足」「どちらかといえば満足」の合計の割合が最も高かったのは“園のおもちゃ教材については（お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど）”で、97.5%となっています。その他、5項目でも「満足」「どちらかといえば満足」の合計の割合は、87.5%を超えています。以下、その他5項目の割合です。

- ・クラスの活動や遊びについては・・・87.5%
- ・子どもが戸外遊びを十分にしているかについては・・・87.5%
- ・自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については・・・95.0%
- ・遊びを通じて友達や保育者との関わりが十分もてているかについては・・・92.5%
- ・遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては・・・90.0%

「生活について」の7項目のうち、「満足」「どちらかといえば満足」の合計の割合が最も高かったのは“お子さんが給食を楽しんでいるかについては”“お子さんの体調への気配りについて”で、いずれも97.5%となっています。その他、4項目では「満足」「どちらかといえば満足」の合計の割合は、85.0%を超えています。以下、その他4項目の割合です。

- ・給食の献立内容については . . . 85.0%
- ・基本的な生活習慣（衣服の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては . . . 95.0%
- ・昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては . . . 90.0%
- ・保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には . . . 95.0%

●問5「保育園の快適さや安全対策などについて」の4項目のうち、「どちらかといえば不満」「不満」の合計の割合が高かったのは、“外部からの不審者侵入を防ぐ対策について”で、67.5%、“施設の設備については”で、27.5%となっております。その理由として、「門をオートロック式にするといいかも」「不審者等、心配」などのコメントが挙げられます。

●問6「園と保護者との連携・交流について」の7項目のうち、「満足」「どちらかといえば満足」の合計の割合が最も高かったのは、“保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については”で、97.5%となっています。なお、“園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については”で、「どちらかといえば不満」「不満」の合計の割合が、15.0%でした。

●問7「職員の対応について」の5項目のすべてにおいて、「満足」「どちらかといえば満足」の合計の割合が、92.5%となっています。

●問8「保育園の総合満足度」は、「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせ、95.0%でした。施設への要望などの自由記述欄には、「大変満足しています。ベテランの先生が多いので安心しています。」「保育士さんたちがみんなで子どもを見守ってくれているのが分かります」という意見があります。一方、「給食の献立のバリエーションを増やして欲しい」「懇談会の日にちや行事の日取りが決まるのがもう少し早いと良い」などの意見があります。

【利用者家族アンケート集計結果】

アンケート回収数：40 （うち全回答未記入 0）

アンケート集計数：40

	0歳児 クラス	1歳児 クラス	2歳児 クラス	3歳児 クラス	4歳児 クラス	5歳児 クラス	無回答
クラス別回収数	8	6	8	10	3	5	0

(%)

問1	よく知って いる	まあ知って いる	どちらとも いえない	あまり知ら ない	まったく知 らない	無回答
あなたは、この園の保育 目標・保育方針をご存知 ですか	27.5%	55.0%	7.5%	7.5%	0%	2.5%

(%)

付問1	賛同できる	まあ賛同で きる	どちらとも いえない	あまり賛同 できない	賛同できな い	無回答
あなたは、その保育目標 や保育方針は賛同でき るものだと思いますか。	57.5%	20.0%	5.0%	0%	0%	17.5%

問2：お子さんが入園する時の状況について

(%)

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	その他	無回答
見学の受け入れについては	50.0%	32.5%	0%	0%	15.0%	2.5%
	その他：「見学に行っていない」					
入園前の見学や説明など、園か らの情報提供については	40.0%	45.0%	7.5%	0%	2.5%	5.0%
	その他：「インターネットで知ることのできる情報が少ない」					
園の目標や方針についての説 明には	37.5%	47.5%	5.0%	0%	7.5%	2.5%
	その他：「理解していない」					
入園時の面接などで、お子さん の様子や生育歴などを聞く対 応については	62.5%	25.0%	2.5%	2.5%	2.5%	5.0%
	その他：					
保育園での1日の過ごし方に ついての説明には	50.0%	40.0%	5.0%	0%	2.5%	2.5%
	その他：					
費用やきまりに関する説明に ついては（入園後に食い違いが なかったかを含めて）	42.5%	42.5%	7.5%	0%	2.5%	5.0%
	その他：					

問3：保育や行事の年間計画について

(%)

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	その他	無回答
年間の保育や行事についての説明には	55.0%	37.5%	2.5%	0%	2.5%	2.5%
	その他：					
年間の保育や行事に、保護者の要望が生かされているかについては	25.0%	52.5%	5.0%	2.5%	10.0%	5.0%
	その他：「まだ分からない…。」「保護者の要望がどのような内容なのかがわからない」「今年初めてなので不明」					

問4：日常の保育内容について

(%)

「遊び」について	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては（お子さんが満足しているかなど）	60.0%	27.5%	10.0%	0%	2.5%	0%
	その他：「道路沿いを自粛し散歩しなくなったがもうそろそろ良いのでは？」					
子どもが戸外遊びを十分にしているかについては	67.5%	20.0%	7.5%	5.0%	0%	0%
	その他：					
園のおもちゃ教材については（お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど）	60.0%	37.5%	0%	2.5%	0%	0%
	その他：					
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	70.0%	25.0%	5.0%	0%	0%	0%
	その他：「自然」があれば1、「地域」は難しいのでは…」					
遊びを通じて友達や保育者との関わりが十分もっているかについては	60.0%	32.5%	5.0%	2.5%	0%	0%
	その他：					
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	52.5%	37.5%	5.0%	2.5%	2.5%	0%
	その他：「分からない」					

(%)

「生活」について	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	57.5%	27.5%	5.0%	5.0%	0%	5.0%
	その他：「色が…」「洋食やパン等を増やして欲しい。おやつももう少しバリエーションがあってもいいと思う」					
お子さんが給食を楽しんでいる	67.5%	30.0%	2.5%	0%	0%	0%

るかについては	その他：					
基本的な生活習慣（衣服の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては	57.5%	37.5%	2.5%	0%	0%	2.5%
その他：						
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	50.0%	40.0%	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%
その他：「分からない」「昼寝の時間が長い」						
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	72.5%	20.0%	5.0%	0%	0%	2.5%
その他：						
お子さんの体調への気配りについては	65.0%	32.5%	2.5%	0%	0%	0%
その他：						
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	65.0%	30.0%	2.5%	2.5%	0%	0%
その他：						

問5：保育園の快適さや安全対策などについて

(%)

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	その他	無回答
施設設備については	22.5%	45.0%	12.5%	15.0%	2.5%	2.5%
その他：「出入口にカギをつけた方がいいのでは？」「誰でも入園できてしまう。不審者等、心配」						
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	57.5%	32.5%	7.5%	2.5%	0%	0%
その他：						
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	15.0%	12.5%	25.0%	42.5%	5.0%	0%
その他：「保護者だけが持っているカギとかがないので誰でもは入れちゃう。門をオートロック式にするといいかも。」「ひどい」						
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	42.5%	37.5%	17.5%	0%	0%	2.5%
その他：						

問6：園と保護者との連携・交流について

(%)

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	52.5%	45.0%	2.5%	0%	0%	0%
その他：						
園だよりや掲示などによる、園	57.5%	27.5%	12.5%	2.5%	0%	0%

の様子や行事に関する情報提供については	その他：					
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	50.0%	40.0%	7.5%	2.5%	0%	0%
送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については	その他：					
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	45.0%	37.5%	10.0%	7.5%	0%	0%
保護者からの相談事への対応には	その他：					
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	55.0%	32.5%	7.5%	5.0%	0%	0%
	その他：					
	60.0%	35.0%	2.5%	2.5%	0%	0%
	その他：					
	55.0%	27.5%	5.0%	5.0%	5.0%	2.5%
	その他：「未経験のため不明」					

問7：職員の対応について

(%)

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	50.0%	42.5%	2.5%	2.5%	2.5%	0%
	その他：					
あなたのお子さんが保育園生活を楽んでいるかについては	65.0%	27.5%	5.0%	2.5%	0%	0%
	その他：					
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	60.0%	32.5%	5.0%	0%	0%	2.5%
	その他：					
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	62.5%	30.0%	5.0%	2.5%	0%	0%
	その他：					
意見や要望への対応については	52.5%	40.0%	2.5%	2.5%	2.5%	0%
	その他：					

問8：保育園を総合的に評価すると、どの程度満足していますか。

(%)

	満足	どちらかと いえば満足	どちらかと いえば不満	不満	無回答
総合満足度は	57.5%	37.5%	2.5%	2.5%	0%

○利用者本人調査

【実施概要】

【実施日：2019年10月25日、2019年10月30日】

- ・全日、各クラスの保育観察を中心に、遊び、食事、排泄、午睡などを観察。
- ・乳児については主に観察調査、幼児については観察と遊びの時間などに適宜聞き取り調査を実施。

□0歳児クラス

散歩の準備では、子どもたち一人一人のペースに合わせられるよう、子どもたちを少人数に分けて援助をしていました。保育者同士で声をかけ合い連携して、子どもたちを順番にバギーに乗せ、散歩の準備を進めていました。その際に、「おんぶするからね」「お散歩に行こうね」など、先の見通しを伝えたり、散歩への期待が膨らむような声かけをする様子が見られました。少人数に分かれているため、順番を待っている間は、保育者と手遊びなどを楽しむ姿も見られました。散歩から帰ってくると、ホールで遊びました。

ホールでは、プラスチック製やウレタン製の一人乗りの遊具を出して、各々の子どもたちが乗ったり、押したりして遊ぶ姿が見られました。また、蛇腹になったマットを囲むようにしお家のように見立ててごっこ遊びを楽しんだり、マットを広げて、その上ではいはいをする姿も見られました。また、広いホールを自由に歩くことも楽しんでいました。保育者は子どもの遊ぶ様子や欲求に応じて、保育者間で一人一人の子どもの様子を共有し、遊具などの数に配慮しながらかかわっていました。給食では、配膳前に保育者が紙芝居を読んだり手遊びをしながら、子どもたちが配膳を待つ姿が見られました。その際に保育者は「おてもきれいになりましたか」「先生もエプロンをつけますよ」などの声かけや、やり取りも楽しんでいました。食事の歌をみんなで歌ってからごはんとなりました。子どもたちは、姿勢を安定させて食事ができるよう、一人一人の成長に合わせた高さのイスに座り、保育者は喃語に答えながら、一人一人のペースに添って介助をしていました。また、器が持てる子どもは自分で器を持ち、保育者が手を添えて介助するなど、一人一人の発達や意欲に合わせた援助も行っていました。

□1歳児クラス

観察日は天気が良く、戸外での活動となりました。近くの川沿いの緑道へ園外保育に出かけました。国道を通るルートのため、安全面に十分配慮し、子どもたちは2台の散歩車に分かれて乗り、4名の保育者が引率しました。

玄関で靴下と靴を履く準備をしました。自分でやってみようとする子ども、声をかけられながら足を出している子ども、順番を待っている子どもなど、それぞれの子どもたちが戸外へ出かけていくのを楽しみにしながら準備をしている様子でした。

子どもたちは、散歩車に慣れている様子で、しっかりと柵をつかみ安定して乗っていました。保育者

は、子どもたちだけでなく、周囲の交通安全や、自転車、徒歩の人の動きにも細かく目を配りながら引率をしていました。途中、緑道に入ると、何人かの子どもが順番に散歩車から降り、歩くことも楽しみました。空を見上げ飛行機を見つけたり、遠くのショベルカーに気づく子どもに声をかけたりするなど、それぞれの子どもが散歩を楽しむことができるよう配慮をしていました。

目的地に着くと子どもたちは、ちょうちょう、アリ、ドングリを見つけ、嬉しそうに「わぁ！きゃあ！」と声をあげたり、保育者と一緒に「よーいどん！まてまてー！」と元気に走り回るなど、好きな遊びを楽しむ姿が見られました。遊びの中で、友だちの持っている大きな葉が欲しくなり、一人の子どもが手を伸ばし取ろうとする場面が見られました。その際は、保育者がそれぞれの子どもの思いを代弁しながら、かかわっていました。緑道ですれ違う近隣の方に保育者が「こんにちは」と挨拶をすると、子どもたちも手を伸ばして拾ったドングリを嬉しそうに見せていました。

園に戻ると2つのグループにわかれ、排泄、着替え、手洗い、食事の準備をしました。排泄では、保育者は連携して、一人一人のペースや状況に合わせて、便座に座るよう促したりしながら、無理なく進めていました。子どもたちも、生活の流れが身についているようで、保育者に声をかけられながら、ズボンを履こうとしたり、着替え袋にしまったりなど、自分でできることに取り組む姿が見られました。

食事前に保育者が紙芝居を読みました。その後、みんなで食事の歌を歌い「いただきます」をすると、お腹がすいていたようで、子どもたちは自らすすんでよく食べる姿が見られました。食事にかかる時間や、食べる様子にはまだ個人差が大きいので、テーブルごとに保育者がかわりながら、楽しく食事を進めていました。

食事の後には、再び排泄や着替えをして午睡準備をしました。その後はすぐに布団に横になる子ども、絵本を見てゆっくりする子どもなど、個々のペースに合わせて過ごしていました。

□2 歳児クラス

当日はとても良い天気、近隣の公園へ散歩に行きました。子どもたちは2人1組で手をつなぎ、玄関から顔を出した園長先生に「行ってきます」と挨拶をし、公園へ向かいました。車などが通らない安全な坂道などでは、途中でつないでいた手を離し、自由に走れる場面も作っていました。散歩中は保育者と歌を歌ったり、公園ではドングリを探そうなどの会話も楽しみながら歩いていました。途中で近隣の方とすれ違うと、挨拶をする場面も見られました。公園に着くと、保育者が手分けして公園内に危険な物がないかと、安全確認し、保育者間で共有していました。その後、保育者が公園での遊び方などを伝え、子どもたちは好きな遊びを始めました。石でできた象やカバなどに乗って遊んだり、ドングリ探しをしたりしました。保育者はそれぞれが分担しながら子どもの援助を行っていました。ドングリや葉っぱなどを集めて、木の枝でかき混ぜるなど、少人数の子どもたちが集まって料理ごっこをする姿も見られました。保育者は状況に応じて、仲立ちをするなどのかかわりもしていました。例えば、石でできた象に乗りたい子が何人かいた場面で、「順番ね」と子どもたちに伝え、子どもたちは保育者と一緒に待って、順番に乗ることを楽しんでいました。拾ったドングリは、保育者からビニール袋をもらって、持ち帰ることができるようにしていました。帰りの坂道では、「だるまさんがころんだ」を取り入れ、坂道で転ばないように、そして楽しめるような取り組みをしていました。

給食は2つのテーブルをつけ、2つのグループに分かれ食事をしました。「おいしいね」などの会話や「順番に食べるんだよ」などの会話を楽しみながら食事をしていました。時折、保育者は器に残ったごはんなどを集めるなどの援助をしながら、楽しく食事がとれるよう配慮していました。

□3 歳児クラス

当日は雨天のため、室内での活動でした。ホールにて、保育者3名が援助をしながら、子どもたちが跳び箱、平均台、マットで転がるなどのサーキット遊びを、自由に選んで行っていました。跳び箱では、ロイター版を使用し、1人ずつ順番に行う姿も見られました。その際に、跳び箱への自信がない子には「跳び箱と仲良くなろう」や「保育者が手本を示す」など、不安を取り除いたり、意欲が持てるような声かけをしていました。途中でホールを駆け回る子もいましたが、状況に応じて個別に声をかけるなど、安全への配慮も行っていました。

また、土台となる固定の台と棒を組み合わせてつくるマルチ運動具では、低い平均台のようにマルチ運動具を2本組み立てて、その上を四つ這いで渡るなどの全身を使う活動も行っていました。マット運動では、ブリッジや手押し車など、子どもたちの意欲に合わせて援助する姿も見られました。保育者は、子どもたち一人一人の運動能力を把握し、保育者同士で声をかけ合い必要な援助をするなどの配慮もしていました。また、あらかじめ片づけの時間を時計で示すなどの配慮もしていました。子どもたちは時間になると保育者と一緒に運動遊具を片づけていました。

給食では、子どもたち一人一人が、自分の食べられる量を考えバイキング形式で盛り付けをしていました。一通り食べ終わると、おかわりも自由に行い、おかわりをする子も多かったです。バイキング形式にしてから、子どもたち一人一人の食べる量が増えたとのことでした。一通りみな食べ終わると、全員で「ごちそうさま」の挨拶をしました。その後、食器も子どもたち自身で片づけていました。歯ブラシは、子どもたちが自分で行ったあと、保育者が仕上げ磨きをしていました。

□4 歳児クラス

観察日は雨天のため、室内での活動となりました。主活動の制作の前に、みんなで歌を歌いました。はじめは伴奏をせず、歌詞を確認するように歌い、次に保育者のピアノ伴奏に合わせて、体を揺らしながら楽しそうに歌っていました。12月の発表会を想定して、最後にはピアノに合わせて「礼」の練習もしていました。何度も繰り返し練習をするというのではなく、日々の保育の中で、発表会に向けて少しずつ積み重ねていくような様子が見られました。

その後、保育者が絵本「くれよんのくろくん」を読みました。子どもたちが見えやすいようにと、保育者は読む場所や位置を変え、子どもたちが自分で椅子の向きを変えて、見えやすい体勢をとるようになどの声かけをしていました。子どもたちはとても集中して、静かに絵本に見入っていました。

この日の主活動は、「ひっかき絵」で、絵本の後に保育者が実際にクレヨンで絵を描き、黒く塗りつぶす様子を見せました。子どもたちは「はなび～はなび～」と絵本の結末をイメージしながら、保育者が

描く姿を見ていました。

その後、一人一人に紙が配られました。筆圧が足らず塗りつぶせない子どもには、保育者は個別に声をかけ、意欲的に取り組めるよう配慮していました。子どもたちは、一生懸命に集中して取り組んでいました

絵を描き終わると、子どもたちはクレヨンの片づけや、真っ黒になった手を丁寧に洗っていました。保育者のテーブル掃除を手伝う子どもや、片づけを忘れていた友だちに、肩を軽くたたいて気づかせてあげる子どもなど、周囲の様子に積極的にかかわりながら過ごす姿が見られました。

食事の配膳では、当番活動を行っており、観察日はりんごグループが、カレー、サラダ、スプーン、フォークを配り、その後、前に立ち「いただきます」の挨拶をしました。

食事では、友だちと会話をしながら楽しく食べている様子が見られました。おかわりの仕方や、食器の片づけなど、一人一人の子どもたちがクラスのルールを理解し、主体的に取り組む姿が見られました。

□5 歳児クラス

当日は雨のため、室内での活動となりました。室内は子どもたちにも分かりやすいよう、1 週間の活動がイラストで描かれ、掲示されていました。室内にいくつかのテーブルが出され、子どもたちは各々好きな遊びを行っていました。制作では、自分たちの部屋に飾る、装飾を折り紙などで保育者や友だち同士で話しながら作っていました。その際に保育者は、子どもたちのアイデアを聞きながら一緒に作ったり、「~つくろう」などアイデアを膨らませたり、提案をしていました。完成した装飾は、すぐに室内の壁に飾られて、子どもと一緒に「どうかな？」など相談しながら、貼る位置や、これからさらに作る物などを話し合う場面も見られました。途中で折り紙などの制作の材料が無くなると、保育者は子どもたちと一緒に必要な材料を取りに行くなど、十分に楽しめるよう配慮していました。また、子どもたちは各々、個別で所有するクレヨン、のり、自由画帳なども使いながら自由に制作や活動を楽しんでいました。例えば、いくつかの絵を描いて、それを絵本のように綴じて、オリジナルの絵本をつくることを楽しんでいる子もいました。制作以外の活動では、図鑑を見たり、レゴブロックなどで遊ぶ姿も見られました。レゴブロックでは自分たちで作ったものを観察者に見せに來たり、レゴブロックで作った駐車場や家、船などを使って、ごっこ遊びに発展させながら遊ぶ姿が見られました。活動を終える時間は、型紙で作られた時計を使って分かりやすく説明していました。

○事業者コメント

自己評価を実施することで、職員同士話し合い、再確認をあらためてする機会となり良かったです。子ども目線、保護者目線、色々な面で考えたり反省したりと、振り返り大変勉強になりました。